

# 令和6年度事業報告書

(令和7年5月22日)

学校法人 総合技術学園

札幌科学技術専門学校

## 令和6年度事業報告にあたって

令和6年度については、日常の教育活動に影響が出ないよう最大限配慮しながらも役員懇談会を重ねて開催し今後の学校継続の検討をして参りました。その結果北校舎の売却を判断することになり、当初の事業計画外の様々な対応に追われる一年となりました。このことにより令和9年度校舎集約に向けて充分検討しながら学園の継続に向けた具体的な取り組みを続けて参ります。

### I 法人(事務局)

#### 1. 理事会・評議員会の開催状況

##### (1) 理事会

日 時	議 題
令和6年5月23日	令和5年度事業報告ならびに決算について 令和6年度補正予算案について
令和6年11月14日	令和6年度上半期事業報告および決算報告について 北校舎の売却について
令和7年2月13日	私立学校法の一部改正に伴う寄附行為変更の件
令和7年3月7日	令和9年度からの高等課程の移転先およびこれに伴う 定員変更について
令和7年3月27日	令和7年度事業計画案について 令和7年度予算案について

##### (2) 評議員会

日 時	議 題
令和6年5月23日	令和5年度事業報告ならびに決算について 令和6年度補正予算案について
令和6年11月14日	令和6年度上半期事業報告および決算報告について 北校舎の売却について
令和7年2月13日	私立学校法の一部改正に伴う寄附行為変更の件
令和7年3月7日	令和9年度からの高等課程の移転先およびこれに伴う 定員変更について
令和7年3月27日	令和7年度事業計画案について 令和7年度予算案について

## 2. 理事・評議員・監事の状況

令和7年3月末日現在	定数	現員数
理事	7	7
評議員	17	17
監事	2	2

## 3. 教職員体制

(1) 採用 校舎用務パート1名

(2) 退職 校舎用務パート2名

専門課程教員4名※内1名は非常勤講師として継続

高等課程教員1名

(3) 教職員数

令和7年3月末日現在	本務	兼務
教員	30	49
職員	12	※5

※用務および清掃パート ※常勤役員含む

## 4. 事務局・総務部事業報告

(1) 中期ビジョンの浸透と全教職員一丸となった事業の推進

中期ビジョンの浸透については、意識が途絶えることのないよう要所で教職員に伝達している。全教職員一丸となった事業の推進についても、各部署で様々な取り組みを行ってはいるが、教職員全員が日常の教育活動・業務の対応で余裕がなく効果はわずかなものになっている。

(2) 学生募集対策会議の月1回開催

計画通り月1開催はできなかったが、これまで3回実施し募集意識の維持向上を図った。

①令和6年5月1日 全員募集について再確認すべき事項と学生募集の流れについて。外部機関による分析資料の提供とポイント説明

②令和6年6月7日 前回の振り返り。今後の学生募集活動の具体的な提案

③令和6年9月20日 前回の振り返り。現在の募集状況について。外部研修の情報共有（進学マーケットの現状共有と継続した学生募集の成功実現に向けて）

(3) 自然環境学科・バイオテクノロジー学科の検討

年間を通じて検討を重ねてきたが、令和7年度に検討を持ち越すこととなった。（令和7年上半期までを期限として検討継続）

(4) 私立学校法改正に伴う寄附行為変更ならびに対応する役員改選準備  
令和7年3月21日付で寄附行為変更が認可された。さらに令和7年度初回の評議員会において役員改選を行うために必要な寄附行為の変更申請を行なった。

(5) 就業規則の改訂

① 所定労働時間に関する規定を、令和6年5月に改定。

② 年休の時間単位取得に関する規定を、令和6年7月に改定。

(6) 労務管理システムの導入

令和6年6月より全常勤教職員を対象とした労務管理システムの運用開始。

(7) 主な施設設備の更新

【本校舎】① LED 非常照明器具の交換

② ボイラー不具合修理

【実習棟】① LED 非常照明器具の交換

② 男子トイレ改修工事

【北校舎】① 8月8日ボイラー室の水タンク破損・水漏れが発生  
→ 破損箇所修理

(8) 防災・施設管理関連

① 防災訓練・・・本校舎：6月4日、北校舎：6月17日、  
自動車実習棟：10月31日実施

② 各種施設点検・・・特定建築物、電気設備、消防設備

(9) 貸教室事業等の実施

① 貸教室

年度	件数	収益（千円）
令和4年度	12	2,981
令和5年度	19	3,423
令和6年度	13	2,345

② 中学校受入（職業体験講座）

年度	件数	生徒数
令和4年度	60	208
令和5年度	60	231
令和6年度	98	337

(10) 教職員の福利厚生

① 4月5日教職員健康診断を実施。

② 8月26日～9月6日 教職員のストレスチェックを実施。

(11) 衛生委員会の開催

7月、8月、9月、11月、2月に実施。

(12) その他

①高等教育負担軽減制度の更新確認申請を行い確認された。

②校用車1台（プリウス）を車検満期に伴い終了。代替策として本校舎近くのカーシェアを利用することにした。

5 広報部事業報告

(1) 専門課程・高等課程広報部事業報告については学校の部にまとめて記載している。

II 学校部門事業報告

1 学校運営に関わるもの

(1) 学校評価について

昨年度は「自己評価の結果」及び「改善策」を提示し、学校関係者評価委員による評価・ご意見・ご感想等をいただいたが、「改善策」に集中する傾向があったため、令和6年度は、「自己評価の結果」のみを提示して学校関係者評価委員による評価・ご意見・ご感想等を聴取した。その結果、回答しにくい側面があったためか、多岐に及ぶ評価・ご意見・ご感想等とはならなかった。令和7年度の実施方法にあたっては、その点の工夫を図りたい。

(2) 学校関係者評価委員会について

学校評価委員会（校内）で検討した自己評価結果に基づく改善策を学校関係者評価委員に提示し、5月25日に実施予定の学校関係者評価委員会において意見をいただく。自己評価の結果や改善策、学校関係者評価委員の評価やご意見をまとめて「自己評価及び学校関係者評価結果報告書」としてHPなどを活用して公表する。

(3) 職業実践専門課程について

令和6年11月に北校舎の売却が決定し、令和9年3月には北校舎を明け渡すことになったことから、令和9年度以降の学校運営計画の見直しを始めた。高等課程等が本校舎へ移転となることから、移転計画と専門課程の学科再編検討を優先することとし、上記についての検討は先送りとしたい。

(4) 部長会議について

協議・検討内容が学園の経営や学校の運営に直結するなど、内容の充実と役割が増大してきており、引き続き、協議・検討内容の精選やスムーズな会議の進行に努める。

(5) その他

法令等の改正に伴う、主旨の理解や合理的配慮の提供など、変更点の理解や教育課程の点検などに取り組むことができた。

III 高等課程事業報告（高等課程広報部事業報告含む）

1. 生徒異動状況

<事業計画（目標）：2年生への進級率 95%、3年生への進級率 95%>

※1年時から指導を重ね、辛うじて2学年への進級を果たした生徒がいたが、生活態度や学業へ取り組む姿勢などが改善できずに退学に至ってしまった。3学年は入学時から苦慮するところが多かったが、ようやく幾らかの落ち着きを見せ、全員が卒業するに至った。

学年	年度当初	転入	転出	退学	休学	原級 留置	進級・卒業者数
1	32	0	1	0	1	0	30 (93.8%)
2	34	0	0	3	0	0	31 (91.2%)
3	21	0	0	0	0	0	21 (100%)
合計	87	0	1	3	1	0	82 (94.3%)

※<参考>令和5年度：在籍93名（年度当初）→進級・卒業者数 86名（92.5%）

## 2. 資格取得状況

検定・試験名		学年区分	合格者数	受験者数	合格率 [%]
ワード文書処理技能認定試験 3 級		1 年生	19	30	63.3%
C 言語プログラミング能力認定試験 3 級		1 年生	3	7	42.9%
危険物取扱者丙種		1 年生	7	16	43.8%
電卓計算能力検定	3 級	1 年生	3	15	20.0%
	4 級				
ワード文書処理技能認定試験 3 級	2 級	2 年生	4	5	80.0%
	3 級(再)		1	1	100%
Excel 表計算処理技能認定試験 3 級		2 年生	21	25	84.0%
Java プログラミング能力認定試験 3 級		2 年生	6	12	50.0%
危険物取扱者乙種 4 類		2 年生	0	13	0%
Web クリエイター能力認定試験スタンダード		2 年生	9	9	100%
登録販売者		3 年生	1	2	50.0%
初級バイオ技術者		3 年生	1	2	50.0%
Access ビジネスデータベース技能認定試験 3 級		3 年生	2	3	66.7%
第二種電気工事士		3 年生	2	3	66.7%
トレース技能検定 4 級	3 級	3 年生	3	3	100%
Web クリエイター能力認定試験エキスパート		3 年生	3	3	100%
AI 検定		3 年生			
実用英語技能検定	2 級	全学年	1	1	100%
	準 2 級		0	2	0%
	3 級		0	2	0%
	4 級		1	2	50.0%

### 3. 生徒指導状況

スマートフォン（SNS）にまつわるトラブルの増加に対し、1年宿泊研修（4月）から研修、啓発等を継続して行ない、問題・指導に発展しないよう取り組んでいる。

### 4. クラブ活動等

#### (1) バドミントン部

定時制通信制バドミントン北海道予選大会（6月）

個人戦 ベスト8 1名

#### (2) パソコン部

オープンソースカンファレンスの見学（6月）

ボードゲーム博覧会の見学（7月）

### 5. 進路希望状況

<事業計画（目標）：専門課程への進学率80%>

※大学を除き、進学者の全員が専門課程を進路として、他の専門学校の競合する学科へ進むことはなかった。5年間一貫教育について、利点や優遇措置等の周知が浸透してきているかに思われるが、継続されるように取り組んでいきたい。

<令和6年度 進路状況（3年生21名）>

進路先		詳細	人数	小計	合計	
進学	大学・短大	東京工芸大学 工学部 機械コース	1	3	21	
		札幌国際大学	スポーツ人間学部 スポーツ指導学科			1
			人文学部 国際教養学科			1
	専門学校等	札幌科学技術専門学校	14	14		
就職	コスモ石油 北海道カーオイル株式会社		1	4		
	北海道キリンビバレッジサービス株式会社		1			
	フレックス株式会社		1			
	卒業後 自己開拓		1			

専門課程進学内訳

学科・コース	人数	学科・コース	人数	合計
二級自動車整備士コース	8	電気技術学科	2	14
情報システム学科	3	バイオテクノロジー学科	1	

## 6. 募集活動状況

### (1) 学校説明会参加組数の推移

年度	9月	10月	11月	12月	合計
令和4年度	実施なし	15	31	26	72
令和5年度	実施なし	17	19	22	58
令和6年度	13	26	14	17	70

※令和6年度から9月開催を設けて、例年より1回多く開催したこともあり、参加数は一昨年並みに回復した。

### (2) 出願区分と入学者数の推移

年度	1次入試		2次入試		3次入試		合計		入学者数
	単願	計	単願	計	単願	計	単願	計	
令和4年度	28	38	5	16	2	2	35	56	38
	併願 10		併願 11		併願 0		併願 21		
令和5年度	21	40	1	2	0	0	22	42	31
	併願 19		併願 1		併願 0		併願 20		
令和6年度	15	34	4	11	0	0	19	45	22
	併願 19		併願 7		併願 0		併願 26		

※受験者総数は昨年をわずかに上回ったものの、入学者数は近年で最も少ない人数となった。併願受験者の入学が僅か3名(12%)に留まったため、昨年の高水準(併願者の45%が入学)を維持できなかった。併願受験者の入学者減少の明確な原因は特定できていないが、説明会等では一貫して「高等学校+α」を謳い、面談や体験等でも先生方が工夫を凝らして対応している。単願での出願に結びつくようにすることをはじめ、併願受験者も本校を選択するよう、継続して説明会の工夫等に努めていきたい。

### (3) 中学校訪問

札幌市内および近郊の各中学校(約110校)へ年2回の訪問を計画しているが、例年のこととして、教職員が通常業務の合間の限られた時間に中学校の進路担当者と面談可能な時間を調整することは難しいのが現状である。訪問時期を早めること、回数を増やすこと等の必要性も感じているため、訪問時期は午前授業または短縮授業にするなどの工夫を検討してみたい。

### (4) 不登校生向けの合同学校説明会への参加

昨年同様に、実習体験ブースのある(株)オービィ主催の2回に絞って参加した。例年通り、実習体験はある程度の賑わいがあり、校内での説明会参加に繋がるケースもあるため、一定の効果はあると感じるが、会場には全日制スタイルではない学校も多く参加しており、人気は高いように感じる。本校の全日制スタイルを強調し、他校との差別化を図っていくか、登校スタイルを変えていくことで入学者の増加に繋がるのか、思案していきたい。

(5) 新たな取組の達成状況

令和6年度事業計画で立案、検討事項として挙げた各案について、達成状況は以下の通りとなる。

・広報誌の作成・送付

「かぎこう新聞」として、4分野の実習風景や内容等を記載した印刷物を、2回目の中学校訪問で持参・配布し、広報材料として活用した。

・後援会（保護者）活用

後援会役員に、学校説明会で保護者目線での本校の紹介を依頼し、3・4回目の説明会で実施した。

・教育講演会の実施

「いじめ・不登校の予防的かかわりとスクールカウンセラーからみた子どもたちの現状」として講師（公認心理師・学校心理士）を招き、講演を実施した。

IV 専門課程事業報告（専門課程広報部事業報告含む）

1. 年度計画の実施、変更について

(1) 主要行事

- ・入学式 令和6年4月11日
- ・文化祭 令和6年7月19日
- ・体育祭（昼間）令和6年10月25日（夜間）令和6年10月18日
- ・卒業式 令和7年3月13日

2. 令和6年度の学籍異動について

令和6年度 1年生

	入学 者数	過年度 者数	年度当 初人数	休学 者数	休学率	退学 除籍	退学 除籍率	進級 者数	入学者 進級率	入学者 休退学	入学者 休退率
建築	9	3	12	2	16.6%	1	11.1%	9	100%	0	0%
環境	7	1	8	1	12.5%	0	0%	7	100%	0	0%
バイオ	5	0	5	0	0%	1	20%	4	80%	1	20%
海洋	11	4	15	2	13.3%	4	26.6%	9	81.8%	2	18.1%
電気	17	1	18	1	5.5%	3	16.6%	14	82.3%	3	17.6%
情報	17	5	22	1	4.5%	4	18.1%	17	100%	0	0%
整備	25	12	37	4	10.8%	10	27%	23	92%	2	8%
整備（夜2年）	5	1	6	0	0%	1	16.6%	5	100%	0	0%
専門課程計	96	27	123	11	8.9%	24	19.5%	88	91.6%	8	8.3%

## 令和5年度2年生

	進級者数	過年度者数	年度当初人数	休学者数	休学率	退学除籍	退学除籍率	卒業者数	進級者卒業率	進級者休退学	進級者休退学率
建築	8	2	10	0	0%	3	30%	7	87.5%	1	12.5%
環境	11	0	11	1	9.0%	0	0%	10	90.9%	1	9%
バイオ	8	0	8	0	0%	1	12.5%	7	87.5%	1	12.5%
海洋	16	2	18	1	5.5%	0	0	17	100%	0	0%
電気	19	1	20	0	0%	1	5%	19	100%	0	0%
情報	18	0	18	0	0%	0	0%	18	100%	0	0%
整備	38	3	41	1	2.4%	3	7.3%	37	97.3%	1	2.6%
整備(夜3年)	8	1	9	1	11.1%	0	0%	8	100%	0	0%
専門課程計	126	9	135	4	2.9%	8	5.9%	123	97.6%	4	3.1%

※一級自動車整備士研究科は2年生に進級した1名が修了。

### 3. 活動報告

#### (1) 教職員研修

- ・整備主任者研修：自動車工学科3名受講
- ・教員能力認定研修：5名受講
- ・職業実践専門課程に係る研修会：第1回(7月)4名、第2回(12月)2名受講
- ・教職員研修：外部から講師を招き、4月と1月に実施
  - 4月：障がい者の就労支援についての基礎知識
  - 1月：発達障がい等、多様な学生に対する支援のあり方について

#### (2) 学内ユニット活動

- ①教育研修ユニット：新年研修テーマの決定と実施。外部講師等の選定作業等。
- ②環境美化ユニット：学内外の装飾や環境整備を実施。
- ③情報発信ユニット：新たな情報発信の方法と内容の検討。
- ④学生募集ユニット：入学体験会のあり方の検討。

#### (3) 学生会活動

##### ①文化祭

- ・模擬店、E-スポーツ、カードゲーム、気配切り、ビンゴ大会を実施

##### ②体育祭

- ・バドミントン、ミニバレー、卓球、障害物リレーを実施

##### ③クラブ活動

- ・自動車部：カート練習会出場(3回)、大会出場(1回)
- ・水槽部：毎週1~2回、学校エントランスの水槽メンテナンス活動

④校外美化活動

・令和6年5月から令和6年10月まで、週1回各クラスで実施

(4) 学内システムについて

事業計画時点では令和6年9月導入に向け作業を進めることとしていたが、令和9年10月まで現行のシステムが利用できる状況となったため、令和9年度の導入に向け準備を進めることとした。

(5) 就職支援室

①企業訪問の為の出張

- ・自動車工学科 : 実施せず
- ・上記以外の学科 : 実施せず

②就職内定状況

学科・コース名	卒業者数	就職対象者数	就職決定者数	就職決定率
建築技術	7	6	6	100%
自然環境	10	9	9	100%
バイオテクノロジー	7	3	2	66.7%
海洋生物	17	13	12	92.3%
電気技術	19	18	18	100%
情報システム	18	15	13	86.7%
二級整備	37	37	36	97.3%
二級整備(夜間)	8	—	—	—
一級研究科	1	1	1	100%
合計	124	102	97	95.1%

③その他

- ・卒業生および卒業生就業先企業等による業界セミナー等を全学科で実施。
- ・無料一般常識テストおよび無料職務適性テストを希望者へ実施。
- ・令和6年3月卒業生に対し、試験的に就業状況アンケートを実施。

(6) 学生支援センター

①学生支援センターの利用者対応状況

	対応人数	保護者対応	備考
令和6年度	25名 1年生13名/2年生8名 3年生2名/高等課程2名	10名	退学4名、退学見込み2名、 休学見込み1名、休学中2名、 進級8名、卒業7名、復学1名、 6名の留学生対応含む

※令和5年度と比較して学生対応は10名減、保護者対応は8名減

<主な相談内容>※重複あり

- ・精神面での不調…10名
- ・医療的な診断を受けた学生に対するフォロー…4名
- ・家庭環境や生活の乱れによる心身不調…9名
- ・進路、就職の問題…2名
- ・経済的な問題に対するフォロー…8名
- ・友人・異性間トラブル…3名
- ・学習面での躓き…6名
- ・休学中の状況確認と復学に向けたフォロー…3名

昨年度より面談者数は減少傾向。

生来の発達障がいや精神的な落ち込みにより医療的な診断を受けている学生、診断は受けていないが限りなく近い状態にある学生の数は依然として高水準であるが、これまで少数だった家庭環境の悪化を原因として登校が不安定になる学生が多く見られた。中には学生個人で解決することができない事例もあり、外部の援助資源とのつながりの大切さを実感する形となった。

#### ②高校訪問

登校が不安定になっている学生、休退学に至った学生、事前に出身校からの申し送りがあった学生については、出身校を訪問し状況の説明と高校在学時の対応に関して情報交換を実施。前年に引き続き、本校の支援体制が学生募集の強みとなりそうな市内の通信制高校への訪問を実施した。

進路行事等の依頼も見られ、一定の効果が上がってきていると考える。

#### ③留学生のフォローと日本語学校訪問

留学生との定期的な面談を通し、学校生活における困りごとの早期解決に努めた。市内の日本語学校訪問に加え、近郊の学校の訪問を実施。

本校の支援体制が認識され始めており、関係性ができつつある。

#### ④高等課程との連携

入学式およびオリエンテーションにて生徒、保護者に対し学生支援センターの取り組みについての紹介、家庭宛の郵送物内に案内資料を同封し周知を図った。高等課程生徒2名との面談があった。

#### ⑤その他

日本学生支援機構をはじめとする各種奨学金取扱い団体、企業や行政が運営する学生支援事業、日本年金機構の学生納付特例等の窓口業務。その他学生向けの各種セミナーや研修の学内周知を実施。

#### 4. 専門課程各学科

##### 【建築技術学科】

###### ①資格取得状況

	受験者数	合格者数
建築 CAD 検定 3 級	8 名	8 名
建築 CAD 検定 2 級	7 名	3 名
2 級建築施工管理技術検定	7 名	4 名

###### ②就職状況 (2 年生 : 7 名、就職希望者 : 6 名、就職内定者 : 6 名、大学編入 : 1 名)

内定職種 : 建築設計職 (3 名)、建築施工職 : (3 名)

大学編入 : 北海道科学大学 工学部 建築学科 (1 名)

###### ③その他

・インスタグラムの更新は大幅に増えたが、新年度は更に回数も内容も充実したい。

##### 【自然環境学科】

###### ①資格取得状況

	受験者数	合格者数
技術士補 (環境)	3 名	0 名
公害防止管理者水質 (4 種)	2 名	0 名
危険物取扱者 (乙種)	2 名	1 名
毒物劇物取扱者	2 名	2 名
生物分類技能検定 2 級	2 名	0 名
生物分類技能検定 3 級	11 名	7 名
2 級ビオトープ計画管理士	9 名	2 名
ドローン検定 3 級	5 名	3 名

###### ②就職状況 (2 年生 : 11 名、就職希望者 : 9 名、就職内定者 : 9 名、

大学編入 : 1 名)

内定職種 : 環境分析 (1 名)、環境コンサルタント (1 名)、自然体験施設 (1 名)

林業 (1 名)、花卉栽培・造園業 (2 名)、造園業 (3 名)

大学編入 : 長崎大学 環境科学部 (1 名)

###### ③その他

・入学体験会参加者は前年比で延べ人数 9 名 (実人数 5 名) 増加。前年度よりは増えているとはいえ、一昨年と比べると実人数で 10 名減の状況であるため、参加者の増加と直接接触の機会を増やすため尽力したい。

## 【バイオテクノロジー学科】

### ①資格取得状況

危険物取扱者乙種第3類	1名	1名
危険物取扱者乙種第4類	2名	1名
危険物取扱者乙種第5類	1名	1名
初級バイオ技術者	1名	1名
中級バイオ技術者	3名	2名
上級バイオ技術者	4名	3名

### ②就職状況（2年生：7名、就職希望者：4名、就職内定者2名、大学編入：3名）

内定職種：細胞培養職（1名）、臨床検査職（1名）

大学編入：室蘭工業大学 システム理科学科 化学生物システムコース（1名）

室蘭工業大学 システム理科学科 物理物質システムコース（1名）

放送大学 教養学部 教養学科（1名）

### ③その他

- ・入学体験会のプログラムに、新たに PCR 実験を導入。
- ・学校 HP のブログの定期更新と Instagram による情報発信。
- ・年度末から入学体験会参加者に対して体験写真と手紙を送付。

## 【海洋生物学科】

### ①資格取得状況

	受験者数	合格者数
2級小型船舶操縦士	8名	6名
生物分類技能検定4級	1名	0名
生物分類技能検定3級	2名	1名
潜水士	4名	3名

### ②就職状況（2年生：16名、就職希望者：15名、就職内定者14名、大学編入：1名）

内定職種：北海道職員水産職（1名）、水族館（1名）、湾港業務（1名）、

漁業（2名）、水産土木施工（1名）、スーパーマーケット（1名）、

増養殖（2名）、観光業（2名）、水産海洋系以外（3名）

大学編入：放送大学 教養学部 教養学科（1名）

## 【電気技術学科】

### ①資格取得状況

	受験者数	合格者数
第一種電気工事士（筆記）	16名	9名
第一種電気工事士（技能）	9名	8名
2級電気工事施工管理技術検定	19名	10名

### ②就職状況（2年生：19名、就職希望者18名、就職内定者18名、大学編入1名）

内定職種：電気工事（7名）、電設（2名）、施工管理（2名）、保守点検（4名）、  
通信（1名）、製作（2名）

大学編入：北海道科学大学 工学部 電気電子工学科

### ③その他

- ・ Instagram での情報発信。
- ・ 出前授業の参加。

## 【情報システム学科】

### ①資格取得状況

	受験者数	合格者数
ITパスポート	8名	5名
基本情報技術者	3名	3名
情報セキュリティマネジメント	3名	1名
応用情報技術者	2名	1名
情報活用能力検定試験2級	7名	4名
WEBクリエイター認定試験	17名	15名
C言語プログラミング認定試験	3名	3名

### ②就職状況（2年生：18名、就職希望者16名、就職内定者13名、大学編入1名）

内定職種：ソフトウェア開発（9名）、ネットワーク関連（2名）、  
カスタマーエンジニア（1名）、設計関係（1名）

大学編入：帝京大学 理工学部 情報科学科

### ③その他

- ・ 入学体験会のプログラムに LAN ケーブル実習、Python のプログラムによるドローン飛行を導入。
- ・ Instagram を活用した定期的な情報発信。
- ・ イベント用の学科紹介チラシの作製

## 【自動車工学科】

### ①資格取得状況（昼間）

	受験者数	合格者数
二級ガソリン自動車整備士	37名	36名
二級ジーゼル自動車整備士	37名	35名
中古車査定士	13名	11名
ガス溶接安全教育	19名	14名
アーク溶接特別教育	25名	25名
タイヤ空気充てん作業特別教育	25名	25名
研削といし安全衛生特別教育	23名	23名
電気自動車等の整備事業に係る特別教育	24名	24名

### 資格取得状況（夜間）

	受験者数	合格者数
二級ガソリン自動車整備士	8名	6名
二級ジーゼル自動車整備士	8名	5名

### ②就職状況（2年生：37名、就職希望者37名、就職内定者36名）

内定職種：自動車整備業（36名）

※夜間学生は全員在職者のため就職状況には含まず。

### ③その他

- ・募集対象者、一般の方に向けてミニ四駆イベントを実施。
- ・自動車販売ディーラーによる職業指導、体験実習を実施。
- ・自働車実習棟のリフト1台を交換。

## 【一級自動車整備士研究科】

### ①資格取得状況

	受験者数	合格者数
一級小型自動車整備士（筆記）	1名	1名

### ②就職状況（研究科生：1名、就職希望者1名、就職内定者1名）

内定職種：自動車整備業（1名）

## 5. 学生募集報告

入学体験会は平日入学体験会の事前告知と回数を増やすことで、前年より参加者数を増やすことができた。また出願者については昨年より 20 名程増やすことはできたが、目標とする 140 名には至らず、入学者数も前年数 22 名増という結果になった。

### (1) 入学体験会参加者

	自動車	自然	バイオ	海洋	建築	電気	情報	合計	前年
今年度	56	13	14	29	20	26	27	185	169
前年度	37	10	11	25	27	29	30	169	-
比率	154.4	130.0	127.3	116.0	74.1	89.7	90.0	109.5	-

### (2) 出願者及び入学者

	自動車	自然	バイオ	海洋	建築	電気	情報	合計	前年
出願者	42	10	9	16	10	23	10	120	100
入学者	42	8	7	16	8	22	10	113	91
前年比	168.0	114.3	140.0	145.5	88.9	129.4	58.8	124.2	-

### (3) 広報活動報告

#### ①ホームページ、SNS の活用

LINE については登録者が約 1,000 名と問い合わせや、イベントの申込に利用される機会が増えている。インスタグラムや SNS については未だ学科毎の発信のばらつきがあるため引き続き更新の協力を図る。

#### ②入学体験会の強化

平日入学体験会を増やしたことや、事前の告知により全体の参加者増に繋がったと考えられる。特に土日で参加できない層にはある程度の効果があるものと考えられる。本年度は平日午前のみ入学体験会も実施し、参加者増と出願者増に繋げていきたい。

#### ③オンライン説明会、個別学校見学の充実

利用者は年々減っているが、12 名中 9 名出願と遠方からの利用者には効果があるものと考えられる。道外の学生や外国人留学生についても学校見学やオンラインからの入学体験会への参加、出願となっている。

#### ④道内各地における学校単独説明会の実施

7/2～全道 14 会場、1/7～全道 6 会場、3/17～全道 14 会場で開催。

参加数は減っているが募集対象 4 組中 3 組出願。早期の 1、2 年生の参加も増えているので引き続き実施していく。

#### ⑤高校訪問の充実

教職員全員での訪問は難しいが、有志や部長会メンバーの協力により、実績校への最低 1 回の訪問は実施できた。引き続き 1 校でも 2 校でも本校の存在に気付いてもらえるよう実施していく。

⑥学内での広報活動への理解向上

高校訪問を含めて教職員全員の理解というまでには至っていない。入学体験会参加者からの入試相談に対応できるよう、入学体験会内での入試説明を盛り込み理解を深める。

⑦高等課程との連携強化

従来の取り組みに加え、チカホイベントやミニ四駆走行会などへ拡充した。今後も専門学校が持つ高等課程の強みや経済面での優遇などにより高等課程の募集と、その後の専門課程進学に繋がるよう連携を深めていく。

⑧実習風景、OBOG 職業動画の制作

素材集めが十分に出来ておらず、制作までに至っていない。今後どのようにしていくか再考が必要。

⑨学生募集管理システムの導入

学内ネットの使用ができなくなるということで、学内ネット利用と並行して募集管理システムの導入とデータの蓄積を行ってきたが、学内ネットの継続使用が可能ということで、経費節減の目的から募集管理システムの利用を取りやめ、学内ネットの継続利用をすることとした。今後修正が必要な部分の修正を含めて運用していく。